

第32回傾斜機能材料シンポジウムの御案内

概要

傾斜機能材料は、スペースプレーンの機能特性を飛躍的に向上させるため、わが国で発明された新しい科学技術コンセプトです。耐熱耐食性に優れるセラミックス部材と、機械的特性に優れる金属部材の間に、組成や組織が連続的に変化する傾斜構造を導入し、熱応力破壊の抑制と長寿命化を達成しました。この考え方は、他の産業分野にも波及し、切削ツールや光伝送ケーブルをはじめ、生体インプラントやエネルギー変換など、材料と構造を傾斜制御による様々な高機能化が実現されました。台頭する3次元積層造形もプロセス技術として包含し、材料と構造の空間的な傾斜も制御され、さらなる高次機能の出現への道筋が開けています。

今回は、東北大学青葉山新キャンパス（宮城県仙台市）にて開催します。「杜の都・仙台」のシンボルとして市民に親しまれてきた青葉山は、仙台市の中心部から西に数キロの距離に位置しながら豊かな自然が現存する希少な場所で、青葉山新キャンパスでは、2024年度からの次世代放射光施設運用開始を目指し、整備が進められています。参加者の皆様におかれましては、初秋の仙台の味覚・風情を楽しんでいただきながら、傾斜機能材料に関する有益な情報交換の場としていただければと思います。

日時 2023年9月14日（木）～15日（金）

会場 東北大学青葉山新キャンパス

（URL http://campus.bureau.tohoku.ac.jp/campusguide/newaob_top.html）

環境科学研究科本館（仙台市営地下鉄 東西線 青葉山駅より 徒歩約3分）

（URL <https://www.kankyo.tohoku.ac.jp/>）

場所 〒980-8572 仙台市青葉区荒巻字青葉 468-1、TEL: 022-752-2233

主催 傾斜機能材料研究会

共催 航空宇宙技術振興財団（JAST）、物質・材料研究機構（NIMS）（五十音順）

協賛 応用物理学会、スマートプロセス学会、日本機械学会、日本金属学会、日本航空宇宙学会、日本材料学会、日本セラミックス協会、日本鉄鋼協会、日本熱電学会、粉体粉末冶金協会（五十音順）

発表 時間：20分（質疑応答含）、資料：要旨集配布

表彰 奨励賞：若手研究者・技術者・学生（2023年4月1日現在35歳以下・筆頭著者かつ講演者）

費用 傾斜機能材料研究会会員・協賛会員：7,000円/会員外10,000円/学生3,000円

昼食 東北大学青葉山新キャンパス 青葉山commons、青葉山みどり厚生会館、ローソンがありますので、各自ご利用ください

次世代放射光施設（ナノテラス）見学会

日時 2023年9月14日（木）午後

懇親会予定

日時 2023年9月14日（木）講演プログラム終了後

会場 仙台市内ホテル（詳細未定）

費用 3,000円

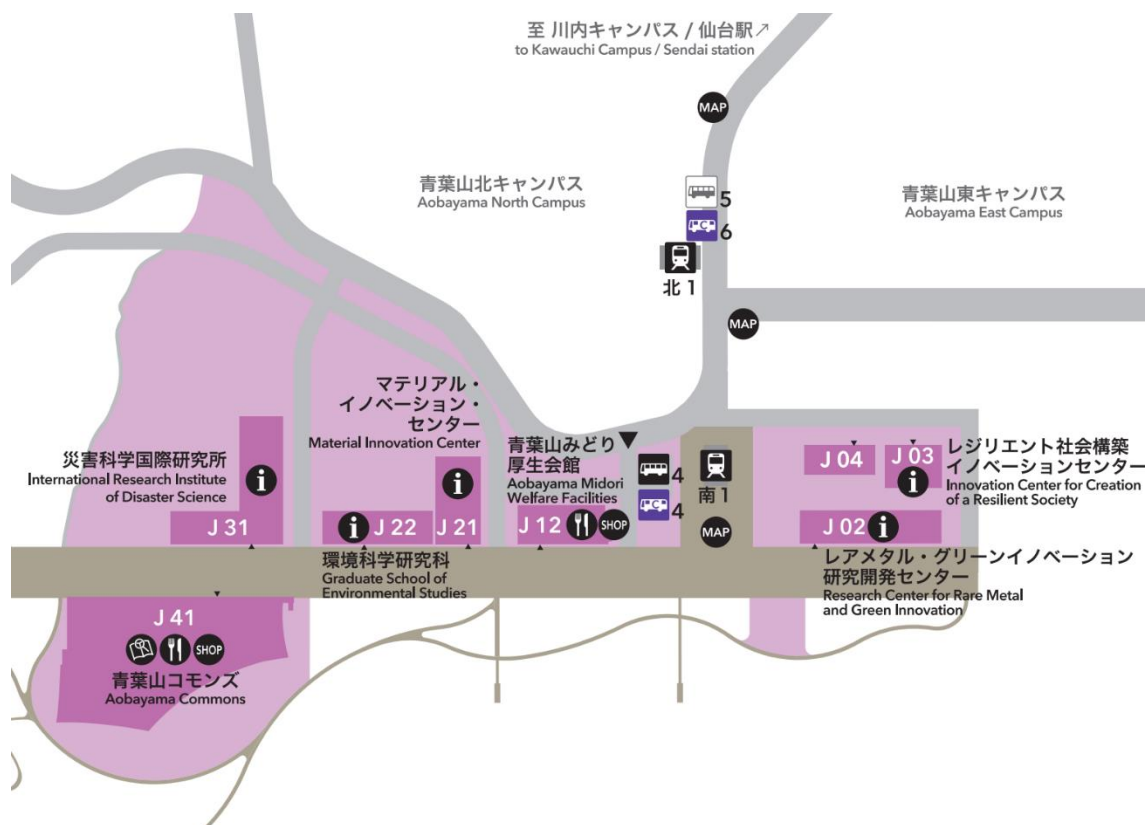
備考 参加人数の把握に必要ですので、事前登録へのご協力をお願いします。

申込 所定用紙をダウンロードして必要事項を記入の上、事務局あてに件名「FGMs2023：名前」にて、発表申し込み・用紙原稿・事前登録ファイルを添付送信してください。

締切 発表申し込み・用紙原稿・事前登録：2023年7月14日（金）17：00

事務局 narumi.horii.a6@tohoku.ac.jp

詳細 傾斜機能材料ホームページ、 <http://www.fgms.net>
（→イベント情報 → 国内シンポジウム）



東北大学青葉山新キャンパス

(<https://www.tohoku.ac.jp/japanese/profile/campus/01/aobayama/>)

以上